

地域とともにある学校づくりを目指して！

豊見城市  
コミュニティ  
・スクール



豊見城市教育委員会



## 1, コミュニティ・スクールとは

### コミュニティ・スクールとは？



コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、学校運営協議会（合議制の機関）を設置した学校を指し、「地域とともにある学校づくり」を推進することを目的とした国の制度になります。

豊見城市教育委員会

コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けてともに協働していく仕組み（ツール）です。

## 2, コミュニティ・スクールはなぜ必要なのか（背景等）

### 子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題



子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は、複雑化・多様化しており、学校と地域の連携・協働が重要となっています。その課題解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。

## 3, コミュニティ・スクールの目的・意義

### コミュニティ・スクールの意義

地域とともにある学校への転換

・「開かれた学校」からさらに一步踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む『地域とともにある学校』への転換

子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築

・地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」の構築

学校との協働による地域活性化の推進

・学校との協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る

コミュニティ・スクールの意義は、  
●地域と一体となった教育への転換、  
●子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築、  
●学校との協働による地域活性化の推進、  
があげられます。

## 4, 豊見城市コミュニティ・スクールの目指す方向

### 豊見城市コミュニティ・スクールの目指す方向



#### コミュニティ・スクールにより

- 夢に挑むことで、目標を立て自ら学ぶ意欲を持ち、心豊かでたくましく創造性・国際性に富む子供を育てます **(ゆめ)**。
- 家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、社会の変化に主体的に対応し得る生涯学習社会の実現を目指します **(まなび)**。
- 郷土の自然や文化に誇りを持ち、心身ともに健康で、主体的にかつ協調性をもって、将来、社会に貢献する子供を育てます **(ひと)**。
- 地域人材や地域の特色を生かし、学校や地域の実情に応じた、「地域とともにある学校づくり」を目指します。
- 家庭・学校・地域社会の相互連携のもと、校長や教職員の異動に左右されない、持続可能な組織体制づくりを目指します。



豊見城市の教育理念に基づいた、「ゆめ」「まなび」「ひと」を大事にする響むまちの教育を推進し、地域とともにある学校づくり、及び持続可能なコミュニティ・スクールを目指します。

## 5, コミュニティ・スクールの三つの役割

### コミュニティ・スクールの役割は？



- ①校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**する
- ②**学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる
- ③**教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる

豊見城市教育委員会

コミュニティ・スクールは、学校運営の基本方針の承認、及び学校運営、教職員の任用に関して意見を述べることができます。学校運営の最終責任者の校長を支え、学校を応援することができます。

## 6, コミュニティ・スクールの運営に欠かせない三つの機能

### 地域とともにある学校運営に欠かせない3つの機能

#### 熟議

地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという**目標・ビジョンを共有**するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切です。熟議の実施により、子供たちに関わるより多くの方の意見を取り上げることができます。

#### 協働

「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が**「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していく**ことが大切です。

#### マネジメント

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向けて学校内の組織運営を管理することにとどまらず、**地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営**を行っていく力が必要です。

豊見城市教育委員会

「熟議」（「熟慮」と「討議」）を重ねながら課題解決を目指し、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて協働し、校長のリーダーシップのもと、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく力が必要となります。

## 7, コミュニティ・スクールのメリット

### コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の主なメリット

校長、教職員の異動に  
左右されない



組織的・持続的な体制の構築 = 持続可能性

目標・ビジョンの共有



当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

基本方針の承認



目標・ビジョンを共有した協働活動

個人個人のがんばりに  
依存していた学校支援

共通の目標に向かい、負担を皆で分け合い、  
組織的に学校を支え、持続可能な仕組み

これまでの学校



個別の活動



総合化・  
ネットワーク化



学 校

豊見城市教育委員会

### コミュニティ・スクールが充実すると

子供にとっ  
ての魅力



- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員に  
とっての  
魅力



- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

保護者に  
とって  
の魅力



- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々  
にとっての  
魅力



- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

## 8, コミュニティ・スクール委員について

### コミュニティ・スクールの委員について

「豊見城市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」(第5条)において定められており、次のような構成です。

- (1) 地域住民
- (2) 保護者
- (3) 学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 学校の校長
- (5) 学校の教職員
- (6) 学識経験者
- (7) 関係行政機関の職員
- (8) その他、教育委員会が適当と認める者



各学校のコミュニティ・スクール委員は、学校長の目指す学校づくりを支えてくれる人材（サポーター）を推薦していただき、教育委員会が委嘱します。委員は、特別職（非常勤）の地方公務員として一定の権限を有します。

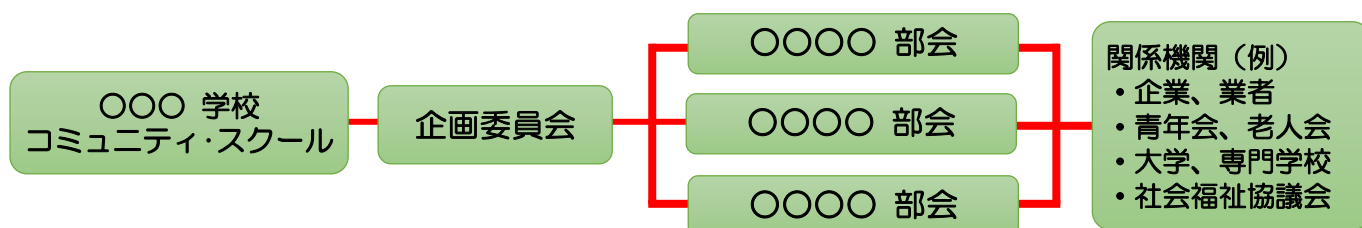
## 9, 豊見城市コミュニティ・スクール推進体制イメージ

### 豊見城市 コミュニティ・スクール(CS)の推進イメージ



地域学校協働本部とコミュニティ・スクールは、それぞれが持つ役割を十分に機能させることで、両輪としての相乗効果を発揮し、学校運営の改善に結びつけることが期待されます。

## 10, コミュニティ・スクールの組織図 (例)





《 豊見城市教育委員会学校教育課 令和 6 年 6 月発行 》